

文理コース選択の客観的資料として ジブラボの判定結果を活用

神奈川県 湘南工科大学附属高等学校 キャリア教育推進協議会 齋藤 之孝先生

湘南工科大学附属高等学校は、湘南の辻堂海岸に程近い閑静な地域に所在する私立の共学校です。全国レベルの人材を輩出する運動部をはじめ、部活動が活発で、「元気で明るい生徒たち」が校風を形作っています。

進学コース(アドバンスコース、スタンダードコースの2コース)、技術コース、体育コースに分かれており、ほとんどの生徒が四大進学を選びます。

近年は、学校長よりキャリア教育に力を入れる方針が掲げられている中で、さまざまな指導の模案が成されているということです。そこで、学内における進路指導推進の橋渡しの組織である「キャリア教育推進協議会」に所属の齋藤之孝先生に、文理選択指導に役立つ『文理選択適性検査ジブラボ』の活用法についてお聞きしました。



—最近の生徒たちの進路意識はいかがでしょうか？

自分の将来像を描けない生徒が増えてきているように感じます。そのため、直近の問題としては、1年次2学期に行なう文理選択に苦勞します。昨今の進学情報が氾濫している状況も、選択を迷わせる要因になっていますが、それだけに自分自身の判断基準をしっかり持たせることが大切になります。

—文理選択指導は、どのような流れで行なわれますか？

進学コースでは、2年次から文系と理系コースに分かれますが、そのための文理選択を1年次11月に行ないます。文理選択に向けての指導としては、4月と10月に担任との面談を、8月の夏休み終盤に三者面談をそれぞれ行ないます。また、9月の初めにコース集会を開いて、文理選択の流れ、受験科目にからめた科目選択についての説明などを行ないます。

さらに、10月には、外部の大学関係者による系統別説明会を開催し、さまざまな学問分野について説明していただきます。生徒は、文系、理系それぞれ8分野位の中から、自分の興味のある分野を必ず1つずつ選んで参加します。学問の内容をしっかりと知った上で、文理選択を行なうためです。

湘南工科大学附属高等学校 1学年 進学スタンダードコースの文理選択の流れ

| | |
|-------|-------------------------------|
| 4月下旬 | 進路指導週間 |
| 5月中旬 | 『文理選択適性検査ジブラボ』実施 |
| 6月下旬 | ジブラボ判定結果を総合学習で使用 |
| 8月下旬 | 三者面談 |
| 9月上旬 | 科目選択説明会・課外授業説明会 (本校の教員が説明) |
| 下旬 | 文理選択説明会(外部業者が説明) |
| 10月上旬 | 系統別説明会(文系) 8講座より1講座を選択 |
| 下旬 | 系統別説明会(理系) ” |
| 11月上旬 | 進路指導週間 |
| 下旬 | 文理選択決定 |

—『文理選択適性検査ジブラボ』採択の経緯と目的をお教え下さい。

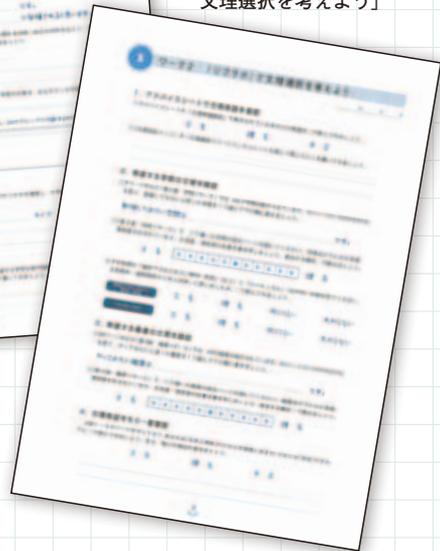
これまでは、各担任に文理選択の指導を任せていましたが、初めて担任を持つ先生には難しい点もあるため、学校として組織的に取り組むことになりました。特に、選択の参考となる客観的な判断材料を増やそうという観点で、さ



▲『文選選抜適性検査ジブラボ』〈生徒用〉アドバイスシート



◀ジブラボブック
「ワーク1 アドバイスシートを振り返ろう」



▼ジブラボブック
「ワーク2『ジブラボ』で文選選抜を考えよう」



▲ジブラボブック〈生徒用〉

さまざまな検査や教材を検討した結果、『文選選抜適性検査ジブラボ』の採択にいたりました。

— 『ジブラボ』は、何年生を対象に、いつ頃実施されましたか？

進学スタンダードコース(中堅大学進学志望者中心)の1年生全員を対象に、5月に実施しました。

5月に実施した理由は、できるだけ早い時期に判定結果を提供したいということはもちろんですが、1学期中に判定結果をもとに進路学習の授業を展開し、進路意識を高めさせたいという意図もありました。

— 『ジブラボ』採択のポイントについて、具体的にお教え下さい。

まず、学問と職業の両面から、文選選抜の参考になるデータが得られるという点が一番にあげられます。

また、特に生徒にとって重要な点は、判定シートの見やすさです。今どきの生徒たちが興味を持って見られるように、カラフルで楽しい視覚的な工夫とわかりやすい表現が用いられている点がポイントになりました。

さらに、判定結果と一緒に送られてくる生徒用ハンドブック「ジブラボブック」が魅力でした。判定結果の見方の他に、「学問リサーチ」と「職業リサーチ」には、生徒が興味を持ちそうな学問・職業の解説がひと通り網羅されていて役立ちます。同様の資料を教師だけで作ろうとした時、とても大変な作業で頓挫したことがありました。

教師にとっては、教師用マニュアルに、判定結果を使って進路の授業を行なう展開例と、そこで使えるワークシートが収録されている点も見逃せませんでした。自分たちで

ワークシートを作る手間が省けると同時に、経験の少ない若い担任にとっても有用と思えたからです。

— 『ジブラボ』実施後の生徒、教師それぞれの反応・効果はいかがでしたか？

生徒は、判定シートを返却した際に、隣同士で見せ合ったりして、非常によい反応が見られました。もちろん、検査の結果がすべてではありませんが、他者と比較したりして、改めて自分と自分の進路について見直すよききっかけになったのかなと感じました。

担任にとっては、生徒の文選選抜についての客観的な資料が増えることは、指導の幅が広がるという点で有用ですし、特に初担任の先生にとっては、生徒理解の資料としても役に立ちました。

— 判定結果のフィードバックについてお教え下さい。

判定結果と、教師用マニュアルおよび「ジブラボブック」に収録されているワークシートを活用して、1学期の「総合的な学習の時間」に進路の授業を展開しました。さらに三者面談の際にも、面談時の資料として活用しました。収録されているワークシート・展開例の選択については各担任の裁量に任せました。例えば、あるクラスでは、「ワーク1 アドバイスシートを振り返ろう」「ワーク2『ジブラボ』で文選選抜を考えよう」を活用しました。

キャリア教育の教材は、ワークの部分も重要視します。これから導入される新しい大学入試テストでは、文章力がこれまで以上に試されると推測されるため、1年次から、ワークシートなどを活用し、まとまった文章を書かせることが大事だと考えるからです。